

ルフェーブル
ソナタ第7番ト短調
X.Lefevre: Sonata Nr.7

コカール
メロディと小スケルツォ
A.Coquard: Melodie Et Scherzetto Op.68

ゴーベール
幻想曲
Ph.Gaubert: Fantaisie

モーツァルト
クラリネット五重奏曲
K.581
V.A.Mozart: Clarinet Quintett K.581

第33回

二宮和子

クラリネット リサイタル

藤井 一興(ピアノ) Kazuoki Fujii, Piano

徳永 二男(ヴァイオリン) Tugio Tokunaga, Violin

三浦 章宏(ヴァイオリン) Akihiro Miura, Violin

川本 嘉子(ヴィオラ) Yoshiko Kawamoto, Viola

藤森 亮一(チェロ) Ryoichi Fujimori, Cello

2024年 **1/21**(日)

開演15:00(開場14:30)

東京文化会館 小ホール

21st Jan.Sunday 2024, 15:00
Tokyo Bunka-kaikan Small Hall

後援
一般社団法人 日本クラリネット協会
桐朋学園音楽部門同窓会

チケット 一般5,000円 学生4,000円

◇ **チケットぴあ** <https://t.pia.jp>
Pコード: 250-563

◇ 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650
<https://www.t-bunka.jp/tickets/>

マネジメント
株式会社クレオム info@creomu.com

Series XXXIII
Kazuko Ninomiya
Clarinet Recital



二宮和子 (クラリネット) Kazuko Ninomiya, Clarinet

桐朋学園大学音楽科卒業。フランス政府給費留学生として渡仏。世界最高峰の音楽家、クラリネット奏者ジャック・ランスロ教授に師事。'63年フランス国立ルーアン音楽院を首席で卒業。洗練されたフランス音楽の伝統を継承する演奏家として注目を集め、ルーアンを中心に演奏活動後、帰国。これまでに、32回のソロリサイタルを開催。フランス近現代の作品はもとより、世界の「知られざるクラリネット名曲」を意欲的に紹介。本邦初演や委嘱作品初演曲は28曲に及ぶ。室内楽でも「東京アーツ・アンサンブル」「Play the Music」等で活発に活動。帰国後も、海外7カ国で公演。'97年ブルガリア・ソフィアにてモーツァルトのクラリネット協奏曲を演奏。クラリネットの国際コンクール、国内コンクール審査員も多数歴任。その活動は海外でも高く評価され、'89年にイギリスで出版の「今日のクラリネットの巨匠達～世界55人」に選ばれる。2005年「2005国際クラリネットフェストTAMA」では、世界一流のクラリネット奏者を日本に招聘。演奏活動の他に、桐朋学園大学、尚美学園ディプロマコース、大阪音楽大学で後進を育成し、優秀なプロ奏者を数多く輩出。現在、(一社)日本クラリネット協会・常任理事、桐朋学園大学同窓会会長も務める。長年の演奏活動及びジャック・ランスロ国際クラリネットコンクール2014年実行委員長としての業績により2015年(一社)日本クラリネット協会賞を授与される。又、2018年第4回及び、2023年第6回同コンクール実行委員長として尽力する。



藤井 一興 (ピアノ) Kazuoki Fujii, Piano

東京芸術大学在学中に渡仏し、パリ国立高等音楽院を作曲科、ピアノ伴奏科ともに1等賞で卒業。パリ・エコール・ノルマルを高等演奏家資格第1位で卒業。作曲をO.メシアン、ピアノをY.ロリオ、M.クルチオに、ピアノ伴奏をアンリエット・ビュイグ＝ロジェの各氏に師事。ヨーロッパや日本国内でのソロ・リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演のほか、フランス国営放送局、NHKなどで多くの録音を行うなど幅広い活動を行っている。世界初のフォーレ・ピアノ作品全集の校訂を担当(春秋社)。多くの国際コンクールで審査員を務める。現在、東邦音楽大学大学院教授、東邦音楽総合芸術研究所教授、桐朋学園大学特任教授。



©ヒダキトモコ

徳永 二男 (ヴァイオリン) Tugio Tokunaga, Violin

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。2024年4月から広島交響楽団ミュージック・アドバイザーに就任する。長年NHK交響楽団のソロ・コンサートマスターを務める。94年のN響退団以降もソロ、室内楽で目覚ましく活躍。96年から宮崎国際音楽祭の総合プロデューサー、2011年からは音楽監督を務める。モントリオール響やイギリス室内管、ウィーン室内管など国内外のオーケストラとたびたび共演。16年文化庁長官表彰を受ける。20年のベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会は大きな注目を集めた。楽壇生活55周年を迎えた21年には、弟子や演奏家が世界中から集い記念演奏会を行う。CDは、ソナタやタンゴなど多数リリース。



三浦 章宏 (ヴァイオリン) Akihiro Miura, Violin

筑波大学卒業後NHK交響楽団に入団。第53回日本音楽コンクール入選、第25回ディボール・ヴァルガ国際コンクール最高位など受賞多数。ソリストとして国内外のオーケストラとコンチェルトの共演、リサイタル、室内楽など多彩な演奏活動を展開。ポアヴェールトリオ、ヴェーラ弦楽四重奏団、鎌倉芸術館ゾリスメンメンバー。宮崎国際音楽祭に毎年出演。東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターとして2001年就任以来、名誉音楽監督チョン・ミョンフン氏はじめ指揮者陣からも厚い信頼を得ている。2020年、初のソロアルバム、ベートーヴェンソナタ集vol.1【クロイツェル】をリリース。22年、vol.2【スプリング】をリリースした。公式HP <https://akihiro-miura.com/>



©島崎陽子

川本 嘉子 (ヴィオラ) Yoshiko Kawamoto, Viola

1992年ジュネーヴ国際コンクール・ヴィオラ部門で最高位(1位なしの2位)。1996年村松賞、1997年第7回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2015年東燃ゼネラル音楽賞・奨励賞受賞。ソリストとして、これまでにガリー・バルティニ、ジャン・フルネ等の著名な指揮者と共演。1999年～都響首席奏者。2017年～2021年までNHK交響楽団の首席客演ヴィオラ奏者を務める。類稀なる表現力とテクニックで聴衆を魅了し、日本を代表するヴィオラ奏者の一人として常に第一線で活躍している。



藤森 亮一 (チェロ) Ryoichi Fujimori, Cello

京都市立堀川高校を経て東京音楽大学入学。第29回文化放送音楽賞、第52回日本音楽コンクール第1位、第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞、第26回京都府文化賞功労賞等を受賞。徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。現在NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める傍ら、モルゴア・カルテット、ラ・カルティエーナほか多くのアンサンブルやソロ奏者としても活躍。東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師。